

国立病院機構 小倉医療センターだより 2023年6月号

— 診療科よりお知らせ —

小児科 小児専門外来へのご紹介は、小児科・予約担当まで(14:30まで)事前連絡をお願いします

*循環器外来 … 水曜日・金曜日 担当医:大野拓郎・中島康貴
*アレルギー外来 … 火曜日・金曜日 担当医:河原隆浩
*小児神経外来 … 木曜日 担当医:緒方怜奈



眼科 火曜日・木曜日は手術日のため、10:00で受付は終了いたします

※緊急手術や外来患者多数の場合、受付の締め切り時間を早める場合がございます

精神科 もの忘れ外来 <<完全予約制>> ※ご予約は、精神科外来(14:30まで)にご連絡下さい

血液内科 診療体制の都合上、新規の紹介患者様の受け入れに、ご迷惑をおかけする場合があります

— 外来医師不在のお知らせ —

(5月18日 現在)

循環器内科 鈴木 哲 ……6/13(月)

小児科 牧村 美佳 ……6/1(月)、6/15(木)、6/22(木)

— 医療従事者研修について—

開催日	内 容 ・ 講 師
6月22日(木) 時間 19:00～	小倉小児科医会臨床懇話会(Web講習会)

— 健康教室について—

「糖尿病健康教室」「産婦人科教室」の開催予定はございません

<診療案内>

- 受付時間
午前8:30～午前11:00
- 救急受付
救急患者につきましては
お電話でお問い合わせください。
- 診療時間
午前8:30～午後5:15
- 休診日
土・日・祝日・年末年始

<地域医療連携室をご利用ください>

- 電話・FAXによる紹介患者様の
の受診予約・事前受付
- 羊水検査・NIPT・MRI・CT等
検査予約
- 転院に関するご相談・紹介・
お問い合わせ
- 診療に関するお問い合わせ
- セカンドオピニオン外来
- 家族性腫瘍カウンセリング予約等
- がん相談に関すること



国立病院機構 小倉医療センター 〒802-8533 北九州市小倉南区春ヶ丘10-1
【診療科】 糖尿病・内分泌代謝内科、血液内科、肝臓内科、消化器内科、循環器内科、
整形外科、外科一般・消化器外科、乳腺外科、小児外科、小児科、産婦人科、
皮膚科、眼科、精神科、放射線科、臨床検査科、麻酔科

◆ご紹介・研修に関してのお問い合わせは、地域医療連携室をご利用下さい
(病院代表) FAX 093-522-5072 TEL 093-921-8881
(地域医療連携室) FAX 093-921-8892 TEL 093-921-8887(紹介患者専用TEL)





独立行政法人国立病院機構

小倉医療センター外来診療担当表

令和5年6月1日現在

診療科	月	火	水	木	金	備考
内科一般（新患） 【内線 208】	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	新患担当は、内科系医師の交代制です。
肝臓内科 【内線 208】	佐藤 丈 顕	佐藤 丈 顕	佐藤 丈 顕 山下 晋作	山下 晋作 國吉 政美	山下 晋作 國吉 政美	
血液内科 【内線 208】	武藤 敏 孝	高 月 浩	武藤 敏 孝	高 月 浩		※血液内科について下記欄外参照ください。
糖尿病・内分泌代謝内科 【内線 264】	的場 ゆか 岡田 淳子 林 加 野	原 奈 那 岩川 歩奈実 阿部 隼 希	的場 ゆか 岩川 歩奈実 林 加 野	的場 ゆか 岡田 淳子 阿部 隼 希	原 奈 那 岡田 淳子 阿部 隼 希	
呼吸器内科 【内線 208】	休 診					
循環器内科 【内線 202】		鈴木 哲	鈴木 哲		◆	新患：連携室へ事前相談(急患不可) ◆他院より派遣医師
消化器内科 【内線 205】	河 邊 顕	村尾 寛之 深浦 啓太	河 邊 顕 深浦 啓太	村尾 寛之 深浦 啓太	河 邊 顕 村尾 寛之	痔疾患は河邊医師が担当。
消化器・一般外科 【内線 205】	鈴木 宏 往	山 崎 徹 松田 諒太	近 沢 信 人	木 村 英 世	田 邊 麗 子	
乳腺外科 【内線 205】	山 崎 徹	山 崎 徹 轟 木 秀一 松田 諒太	◇山 崎 徹	轟 木 秀一	轟 木 秀一	◇印 予約のみ
整 形 外 科	清 水 敦 深 川 真 吾 徳 永 修	[手術日]	清 水 敦 深 川 真 吾 笹 栗 慎 太 郎	[手術日]	清 水 敦 深 川 真 吾 徳 永 修 笹 栗 慎 太 郎	※手術日の急患・紹介に関しては事前にご連絡をお願いします。
小児科（午前） 【内線 209】	安永 由紀恵 河 原 隆 浩 ◇□牧村 美佳 中 嶋 敏 紀	△河原 隆浩 安永 由紀恵 春日 井 悠 ☆渡辺 恭子 中 嶋 敏 紀 ☆緒方 怜奈	◇牧村 美佳 中 尾 泰 介 河 原 隆 浩 ◎大野 拓郎 ☆九大より派遣 (第2・4週) ☆安永 由紀恵	河 原 典 子 牧 村 美 佳 ☆緒方 怜奈(初診)	◎大野 拓郎 河 原 典 子 牧 村 美 佳 ◎中 島 康 貴 ☆渡辺 恭子 ☆緒方 怜奈 ☆安永 由紀恵	◎循環器外来（予約制） △アレルギー外来（予約制） ☆神経外来（予約制） ◇内分泌外来（予約制） □新生児外来（予約制） ※初診のみ 専門外来新患は要電話予約 (9：00-14：30電話受付) 詳しくは病院ホームページ
小児科（午後） 【内線 209】	中 嶋 敏 紀 ※◎中 島 康 貴	中 嶋 敏 紀 ☆渡辺 恭子 ☆緒方 怜奈 ※△河原 隆浩	◇牧村 美佳 湯 浅 千 春 ◎大野 拓郎 倉 田 浩 昭 ☆九大より派遣 (第2・4週)	市 山 正 子 香 月 比 加 留 ☆緒方 怜奈	△河原 隆浩 湯 浅 千 春 ◎中 島 康 貴 ☆渡辺 恭子 ☆緒方 怜奈 ☆安永 由紀恵	
小 児 外 科 【内線 209】	[手術日] (急患のみ可)	生 野 猛 *生野久美子 橋 本 佳 子	[手術日] (急患のみ可)	◎生 野 猛 生 野 久 美 子 *橋 本 佳 子	*生 野 猛 生 野 久 美 子 橋 本 佳 子	◎小児泌尿器外来 *印 新患担当 急患は随時対応
産科・婦人科 【内線 204】	清 水 佳 祐 河 村 京 子 *川上 浩介 牛 島 崇 大 藏 尚 文 北 川 麻 里 江 清 水 隆 宏	宮 原 英 之 *川越 秀洋 徳 田 諭 道 牟 田 満 藤 川 梨 恵 石 橋 弘 樹 [手術日]	藤 川 梨 恵 *川越 秀洋 川 上 浩 介 河 村 京 子 大 藏 尚 文 小 野 結 美 佳 宮 原 英 之	熊 谷 晴 介 *川越 秀洋 近 藤 恵 美 牟 田 満 大 藏 尚 文 石 橋 弘 樹 北 川 麻 里 江	*徳 田 諭 道 *河 村 京 子 川 上 浩 介 伊 波 勇 裕 小 野 結 美 佳 清 水 隆 宏 [手術日]	*印 新患担当 新患は紹介患者様のみ
泌 尿 器 科 【内線 213】	◆	[休診]	[休診]	◆	◆	◆他院より派遣医師
皮 膚 科 【内線 8080】	土 井 和 子 杉 悠 太	土 井 和 子 杉 悠 太	土 井 和 子 杉 悠 太	土 井 和 子 杉 悠 太	土 井 和 子 杉 悠 太	
眼 科 【内線 212】	能 美 典 正 下 川 翔 太 郎 村 上 裕 一	下 川 翔 太 郎 村 上 裕 一 高 木 (第 1 週) [手術日]	宮 城 美 智 子 下 川 翔 太 郎 村 上 裕 一	能 美 典 正 下 川 (奇数週) 村 上 (偶数週) [手術日]	能 美 典 正 下 川 翔 太 郎 村 上 裕 一	火・木は 10：00で受付終了
精 神 科	今 村 眞 帆 今 村 汐 里 佐 藤 康 人 *磯 村 周 一	今 村 眞 帆 角 田 芳 奈 *権 藤 知 子	磯 村 周 一 今 村 眞 帆 権 藤 知 子 *角 田 芳 奈	磯 村 周 一 今 村 眞 帆 権 藤 知 子 今 村 汐 里	磯 村 周 一 今 村 眞 帆 権 藤 知 子 樋 口 潤 *今 村 汐 里	*印 新患担当 新患は要電話予約 (9:00~14:30電話受付)
放 射 線 科 【内線 231】	野 見 山 弘 行	野 見 山 弘 行 久 野 修 (午後)	野 見 山 弘 行	野 見 山 弘 行	野 見 山 弘 行 高 木 正 統 (午前)	
耳 鼻 咽 喉 科 【内線 8320】	[休診]	◆	[休診]	[休診]	◆	◆九大より派遣医師
消化管内視鏡 【内線 379】	村 尾 寛 之 深 浦 啓 太	河 邊 顕 國 吉 政 美 山 下 晋 作	村 尾 寛 之	河 邊 顕	深 浦 啓 太	

注）：受付時間：午前8：30～11：00（急患については、この限りではありません）

注）：不在の場合は担当医が変更になることがあります。

注）：詳しくは、病院ホームページをご覧ください。

注）：血液内科診療につきまして、診療体制の都合上、新規の紹介患者様の受け入れに、ご迷惑をおかけする場合があります。

◆国立病院機構小倉医療センター◆

〒802-8533 北九州市小倉南区春ヶ丘10-1

TEL093-921-8881/FAX093-921-8892（地域医療連携室）

診療科紹介

皮膚科

いつも患者さんをご紹介いただき、誠にありがとうございます。

専門医1名を含む皮膚科医2名で、月曜日から金曜日午前で外来診療を行い、午後は手術や入院患者さんの処置を行っています。

毎週火曜日は皮膚排泄ケア認定看護師と、小児外科医とともに褥瘡回診を行っています。皮膚排泄ケア認定看護師を中心として、定期的に院内の褥瘡勉強会が開催されており、病棟看護師の頑張りもあって、院内での新規発症は全国平均を常に下回っています。

昨年度から分子標的薬使用承認施設となりました。アトピー性皮膚炎や円形脱毛症の使用症例が増え、患者さんの満足度が高く、良好な結果が得られています。

近年、乾癬においてpsoriatic disease(乾癬患者さんは、肥満、高脂血症、糖尿病を合併しやすく虚血性心疾患発症リスクが高い)という概念が提唱され、皮膚だけではなく全身の炎症性疾患として認識されるようになってきました。早期に乾癬治療を開始することで、心血管イベントのリスクを低減できる可能性があり、当院でも生物学的製剤を積極的に使用していきたいと思っています。

地域の皆様方のお役に立てますよう、これからもより一層励んでまいりたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

放射線科

放射線科は画像診断医2名、診療放射線技師11名、看護師2名、事務員1名の体制で日々診療や放射線治療に従事しています。

CTは、高画質かつ短時間で多くの情報を得ることができ、画像作成においても3D等も積極的に行っています。またMRIでは技術革新が目覚ましく、検査適応の拡大や病態の詳細な描出など、より診断価値の高い画像の提供しております。頭頸部や骨軟部組織、消化器、婦人科領域など幅広い検査に対応可能です。放射線治療においてもCatalyst™と呼ばれる体表面イメージガイドを用いて、患者さんに安全性と安心感のある治療を提供しています。

また、地域医療連携ソリューションとして、富士フィルムメディカルのC@RNA connectを採用し、地域の医療機関とオンラインで接続することで24時間365日

いつでも検査の予約が可能となっています。

C@RNAではCT・MRIのみのご予約となりますが、他にも超音波や骨密度、核医学等の検査および放射線治療も地域医療連携としてお受けいたしますので、お電話にて申し込み下さい。また緊急時におけるご依頼も可能な限りお受けいたしますので当科にご相談いただけたらと思います。

当センター放射線科への検査及び放射線治療のご依頼をお待ちしています。



基本理念

この街には、この病院があるから住みたいと思われるような病院を目指します

糖尿病・内分泌代謝内科

●当科は、糖尿病認定教育施設、内分泌学会認定教育施設、日本肥満学会認定肥満症専門病院であり、糖尿病、内分泌代謝疾患、肥満症に対して専門性の高い診療を行っています。

●令和元年5月より糖尿病センターを立ち上げ、専門医のみならず、専門的知識のある看護師、管理栄養士、薬剤師、作業療法士、臨床検査技師、事務の多職種からなるチーム医療を行っています。各職種で協力して行う患者会や糖尿病教室、地域にむけた健康教室、フットケアなどを通して患者教育にも力を入れており、地域の先生方との医療連携を行い、糖尿病とともに生きる患者さんの円滑な治療継続に努めています。

●糖尿病診療では約3週間の教育入院を設定しており、現在の糖尿病の代謝状態の把握、糖尿病細小血管合併症や動脈硬化の評価を行い、治療方針を決定します。これを元に、体組成や生活習慣に合わせた食事・運動療法の指導も行っています。多忙な患者さんへの短期間の教育入院、手術を控えた患者さんへの術前血糖コントロール入院なども、状況にあわせて柔軟に対応しています。

●妊娠糖尿病や糖尿病合併妊娠症例も多く、当院産婦人科とのスムーズな連携の上、適切な治療を行っています。1型糖尿病合併妊娠など血糖コントロールに難渋する症例にも、持続血糖測定（rtCGM, isCGM）やインスリンポンプ療法、Sensor Augmented Pump（SAP）を使用し対応しています。

●甲状腺に関しては、火曜日・午後に甲状腺エコー外来を設け、甲状腺腫瘍の精査や診断、治療方針の決定を行っています。また、甲状腺機能異常の精査、バセドウ病や橋本病の治療を行っています。

●副腎腫瘍・下垂体腫瘍についての精査入院を行っており、内分泌学的負荷試験、CT・MRI・シンチなどの画像検査、副腎静脈サンプリング等の結果を総合的に判断して、診断や治療方針の決定を行っています。

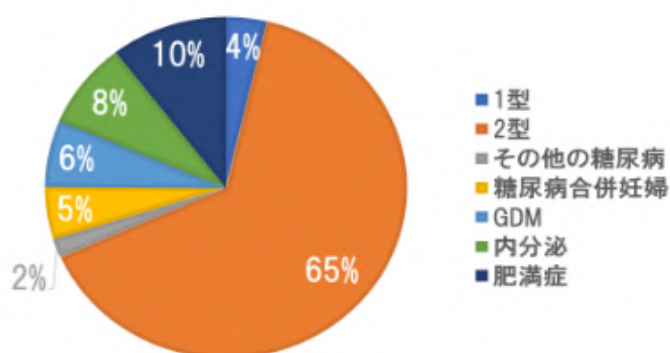
●当科で診療を行っている主な疾患

- ① 糖尿病（1型糖尿病・2型糖尿病・妊娠糖尿病・糖尿病合併妊娠、糖尿病腎症）
 - ② 甲状腺疾患（バセドウ病、橋本病、甲状腺腫瘍など）
 - ③ 副腎疾患（副腎腫瘍、原発性アルドステロン症、クッシング症候群、褐色細胞腫、副腎皮質機能不全症など）
 - ④ 下垂体疾患（下垂体腫瘍、下垂体機能低下症など）
 - ⑤ 副甲状腺疾患（原発性副甲状腺機能亢進症、副甲状腺機能低下症など）
 - ⑥ 性腺疾患（性腺機能低下症、多胞性卵巣症候群など）
 - ⑦ 肥満症（単純性肥満、二次性肥満、高度肥満）
 - ⑧ 脂質代謝異常
- 上記疾患の診療を中心に、月曜日～金曜日は毎日、外来診察を行っています。
- 当院の治療を希望される患者さんのご紹介をよろしくお願い申し上げます。

小倉医療センター 糖尿病・内分泌代謝内科 入院患者数



専門領域の入院内訳



基本理念

この街には、この病院があるから住みたいと思われるような病院を目指します